

がん化学療法看護認定看護師



高島 幸恵
中田 和美
小寺 陽子
廣田 麻衣
藤澤ますみ

がん化学療法看護認定看護師って何？

実践

がんと抗がん剤の特徴を理解した

1. 安全な点滴投与の管理
2. 抗がん剤の副作用について
 - 1) 予測的なアセスメント
 - 2) 予防に努める
 - 3) 副作用の出現後は患者個々のライフスタイルにあわせたケア
3. 精神的サポート
 - 1) がんの理解
 - 2) がんとの付き合い方
 - 3) 治療選択

指導

院内外における
“がん化学療法看護”
セミナー講師

各部署からの依頼内容

- ・安全な点滴投与管理
- ・副作用対策
- ・ICに関する内容
- ・治療器材について
 - V-Port管理について
 - インフューザーポンプなどの取扱い
- ・がん患者のメンタルケア

相談

がんの治療

放射線療法



手術

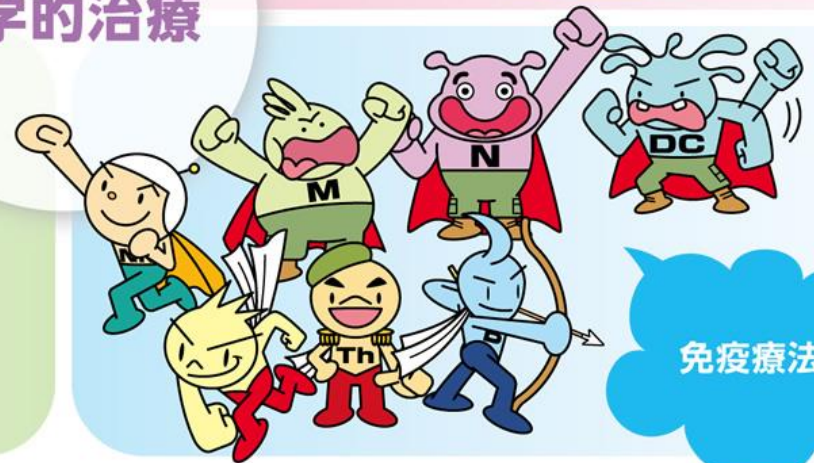


集学的治療

薬物療法



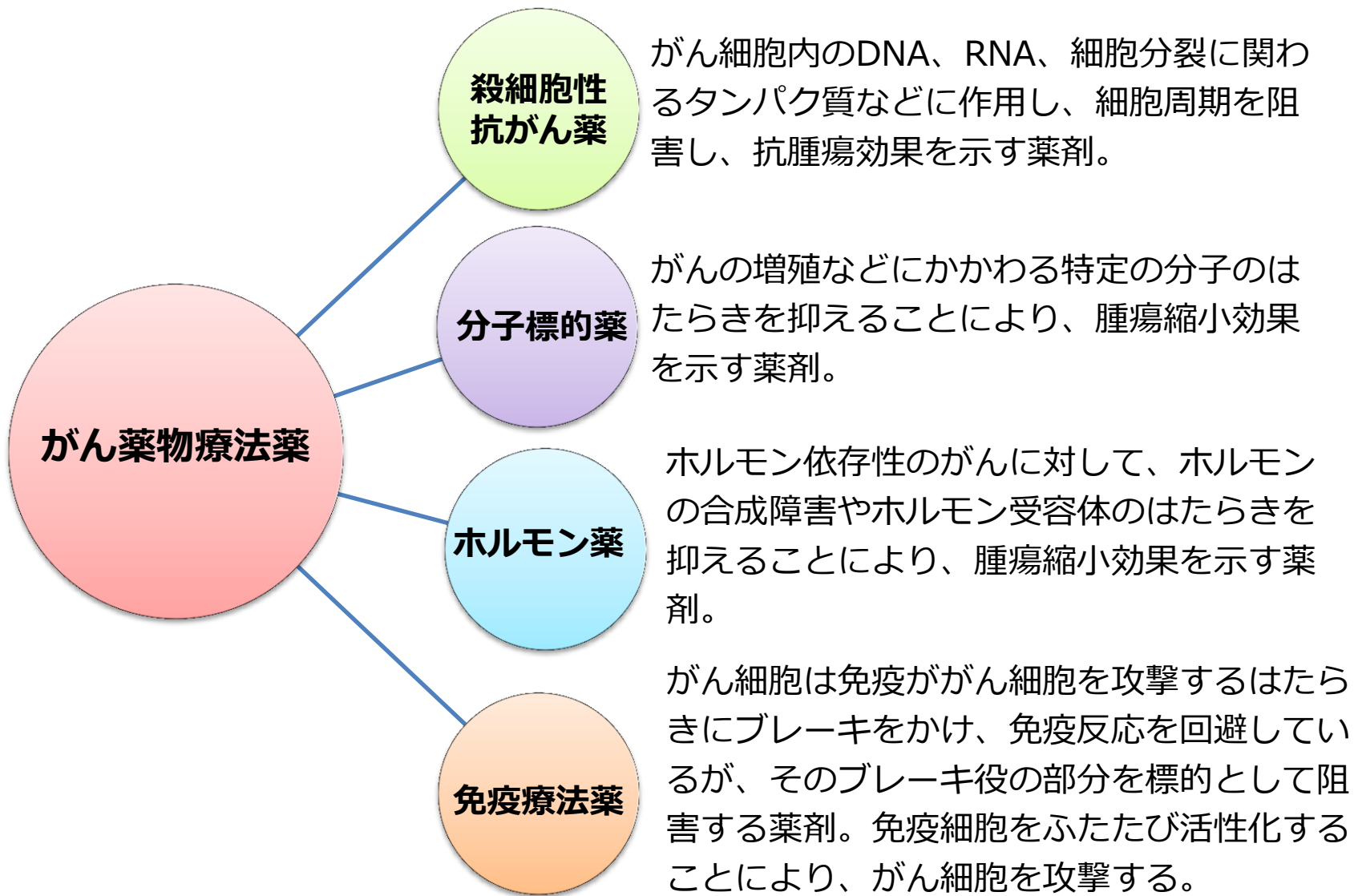
免疫療法



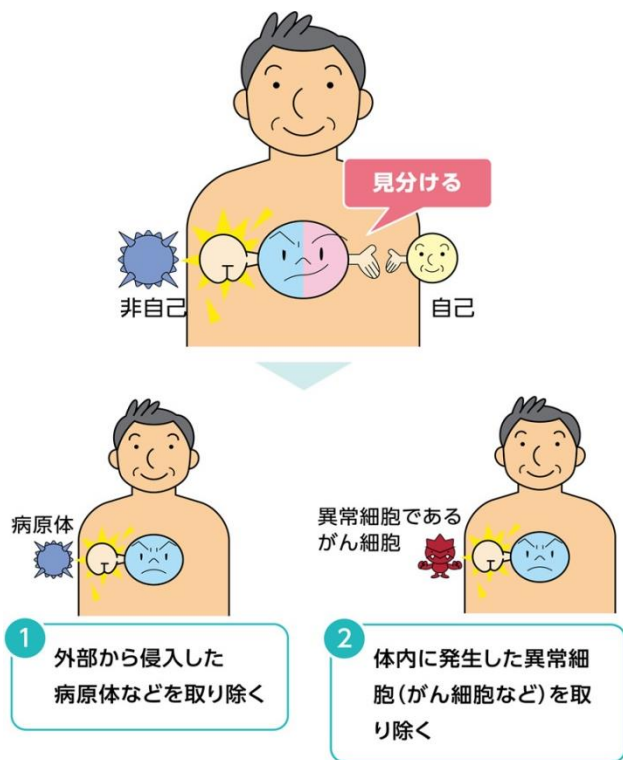
局所療法

全身療法

がん化学療法とは

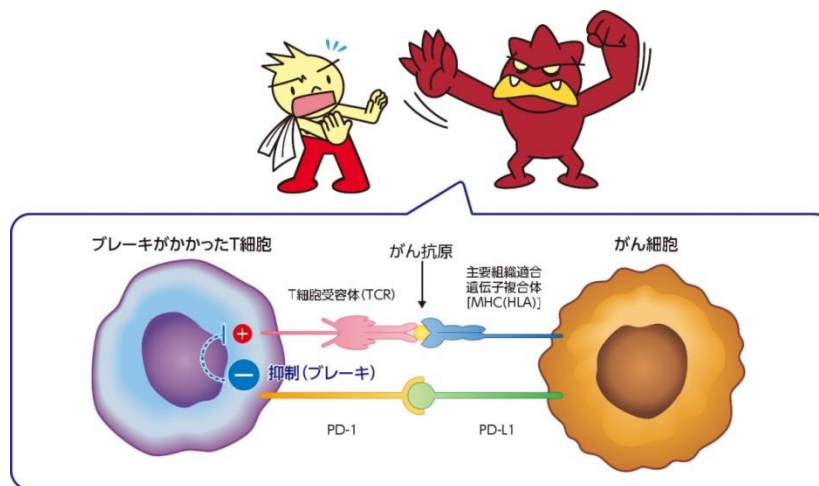


免疫チェックポイント阻害薬とは

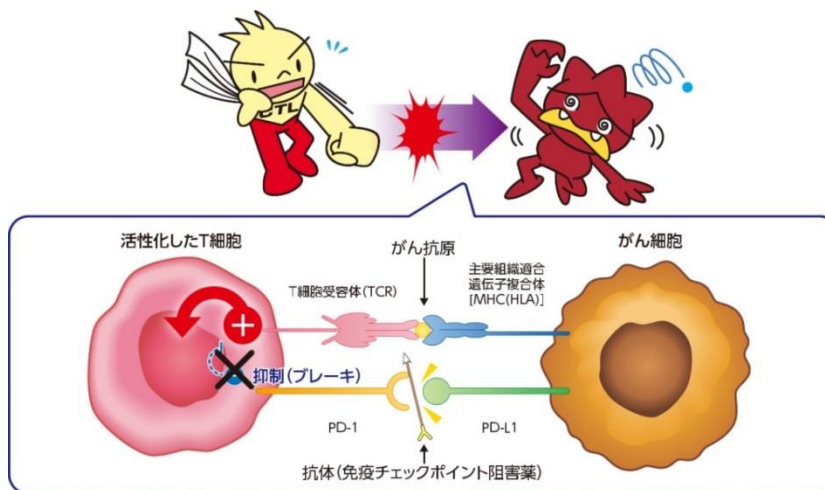


「免疫」とは、私たちの体の中で、異物を見分けて、それを攻撃し、体から排除する働きをしています。

<https://www.ono-oncology.jp>
より出典



がん細胞は免疫の働きにブレーキをかけて、免疫細胞の攻撃を阻止しています。



がん細胞によるブレーキを解除することで、免疫細胞の働きを再び活発にしてがん細胞を攻撃できるようにする新たな治療薬です

名称	販売開始	作用	適応
オプジーボ® (ニボルマブ)	2014年9月	抗PD-1抗体	<ul style="list-style-type: none"> 悪性黒色腫 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 根治切除不能または転移性の腎細胞癌 再発または難治性の古典的ホジキンリンパ腫 再発または遠隔転移を有する頭頸部癌 がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の胃癌 がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫 がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性 (MSI-High) を有する結腸・直腸癌 がん化学療法後に増悪した根治切除不能な進行・再発の食道癌
ヤーボイ® (イピリムマブ)	2015年8月	抗CTLA-4抗体	<ul style="list-style-type: none"> 根治切除不能な悪性黒色腫 根治切除不能または転移性の腎細胞癌 がん化学療法後に増悪した進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性 (MSI-High) を有する結腸・直腸癌 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌
キイトルーダ® (ペムブロリズマブ)	2017年2月	抗PD-1抗体	<ul style="list-style-type: none"> 悪性黒色腫 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 再発または難治性の古典的ホジキンリンパ腫 がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な尿路上皮癌 がん化学療法後に増悪した進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性 (MSI-High) を有する固形癌 根治切除不能又は転移性の腎細胞癌 再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌 がん化学療法後に増悪したPD-L1陽性の根治切除不能な進行・再発の食道扁平上皮癌
バベンチオ® (アベルマブ)	2017年11月	抗PD-L1抗体	<ul style="list-style-type: none"> 根治切除不能なメルケル細胞癌 根治切除不能又は転移性の腎細胞癌
テセントリク® (アテゾリズマブ)	2018年4月	抗PD-L1抗体	<ul style="list-style-type: none"> 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 進展型小細胞肺癌 切除不能な肝細胞癌 PD-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳がん
イミフィンジ® (デュルバルマブ)	2018年8月	抗PD-L1抗体	<ul style="list-style-type: none"> 切除不能な局所進行の非小細胞肺癌における根治的化学放射線療法後の維持療法 進展型小細胞肺癌

患者・家族のセルフケア支援



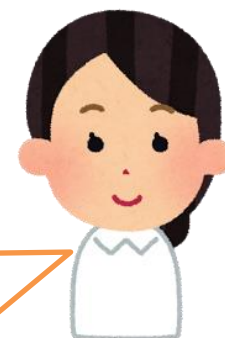
- がん化学療法には、さまざまな副作用が出現します
- 治療の場が入院から外来へ移行し、患者と家族は治療に伴うさまざまな出来事へのセルフケアが求められています
- セルフケア支援とは、患者の持っている力を最大限に引き出すことであり、看護師の役割は患者を支援することです

アセスメント

- セルフケアに対する必要性や動機
- 身体的症状、精神的症状
- 技術的な知識と実践力



がん化学療法看護認定看護師は
化学療法を実施する病棟等に勤務しています。
患者さんやそのご家族が安心して治療や入院
生活、自宅での生活できるように支援してい
きます。



看護のポイント

- 精神的・身体的苦痛が強い時期は看護師がケアを代償する
- セルフケアの知識と技術の提供は、患者に合わせた量・内容にする
- 患者が継続可能な方法を一緒に考える
- 患者を励まし、認め、セルフケアの効果を評価することで自己効力感を高め、患者が治療に主体的に参加できるようにする



がん化学療法看護認定看護師の 活動紹介

IVナースの育成

安全に抗がん薬の投与・管理・
看護ケアができる看護スタッフ
を教育しています



レジメン審査

医師・薬剤師と共に院内で
使用する抗がん薬のレジメン
作成に関わっています

勉強会講師

病棟勉強会や出張レク
チャーを行っています

院外の施設との研修



学会参加

治療や投与管理に関す
る知識を深め、日ごろ
の業務に役立ってい
ます



認定看護師からの一言メッセージ



積貞棟3階
廣田麻衣

血液腫瘍内科で勤務しています。がん化学療法はもちろん造血幹細胞移植やCAR-T療法を受ける患者さんが、さまざまな困難を乗り越れるよう日々奮闘しています。また新規薬剤やレジメンに対応し、安全な投与管理のための環境整備も行っています。



積貞棟5階
小寺陽子

呼吸器内科に勤務しています。病棟では主に肺がんの化学療法導入期に携わっています。不安な気持ちを抱えながら薬物療法をおこなう患者さんに寄り添い、少しでも安心して治療に臨んでもらうことができるような看護をしたいと思っています。また自部署の看護スタッフの、化学療法に関する看護の質向上のため、実践モデルとして動いたり指導も行っています。

認定看護師からの一言メッセージ



看護部管理室
中田和美

病棟からは少し離れていますが、全体の教育にかかわっています。患者の皆さんとは、救急外来でお会いした時、専門性を活かした関わりになるよう心掛けています。



積貞棟7階
高島幸恵

看護師長として消化器内科病棟で勤務しています。病棟で働く看護師達が安全な治療を提供できるよう支援的にかかわっています。また、他部署（外来化学療法室や地域ネットワーク部など）との橋渡しの役割が果たせるように日々努力しています。

がん化学療法看護認定看護師の藤澤です。



今年から京都大学病院に就職し、KI-CONNECT（治験）病棟で勤務しています。前の勤務先では、主に外来化学療法室で勤務していました。

治験に来られる方の中には、がん患者さんも多く、抗がん剤を取り扱う機会が多いため、今までの経験や知識が役立っています。

治験病棟の特色



一般病棟と違う点は、すべての治療がプロトコル（治療計画書）に沿って行われることです。投薬、食事などの時間が決まっているだけでなく、薬の効果や副作用を確認するため、頻回に採血や体調の変化の有無を確認します。

こういった患者さんの苦痛や不安を少しでも緩和し、安全に治験が行えるように、難しい治療計画の学習と医療機器の点検を繰り返し行い、質の高い医療の提供へ繋いでいます。

臨床試験

治験

「新しい薬や治療法」
として承認するために
必要な臨床試験

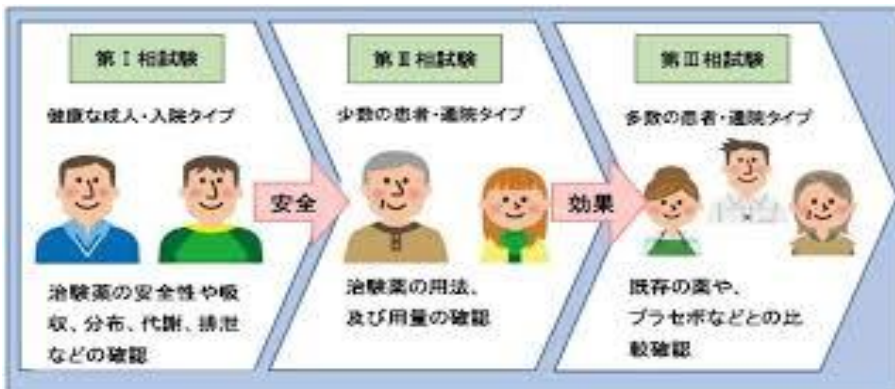
治験は、新しい薬が医療の現場で多くの患者さんに使えるようになるため、事前に十分な効果と副作用を確かめるためヒトを対象に行う試験です。

治験ってなあに？
「国立育成医療研究センター」 ncchd.go.jp

がん化学療法看護認定看護師としての活動

職場の仲間から相談を受けたときは、今までの経験や知識を活かして一緒に考え、行動するようにしています。

今はまだ治験に関する経験は浅いですが、最善の医療と看護を提供できるように仲間と協力して、外来看護や患者さんの意思決定支援に携わりたいと思っています。



新規開発過程とは？治験ボランティア・臨床試験モニター-jcvm.jp